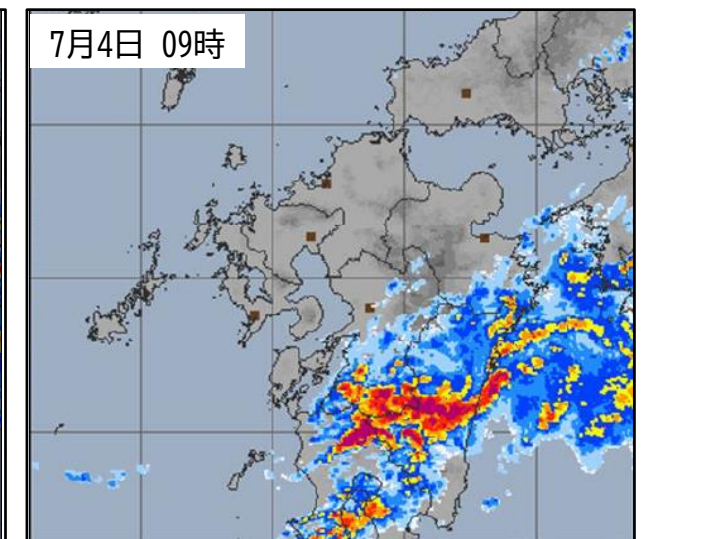
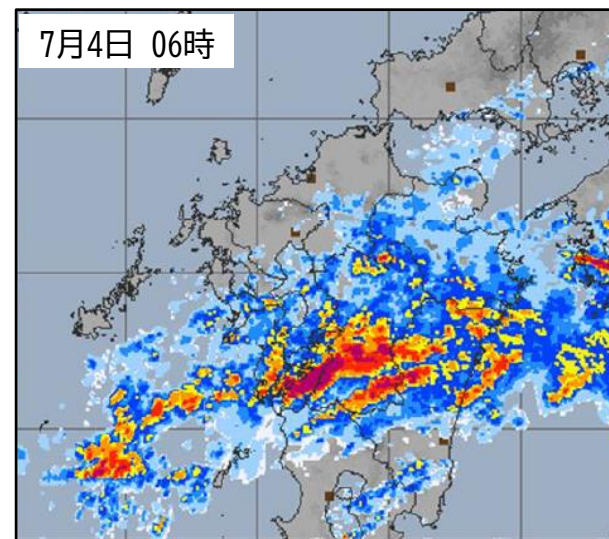
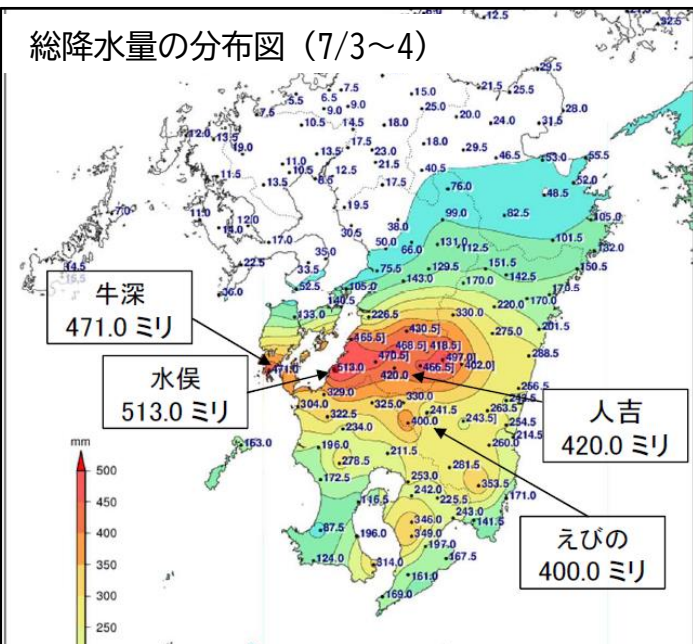
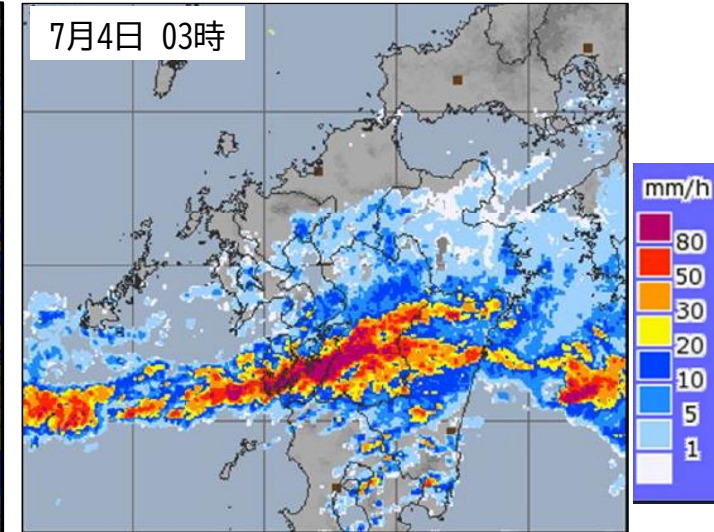
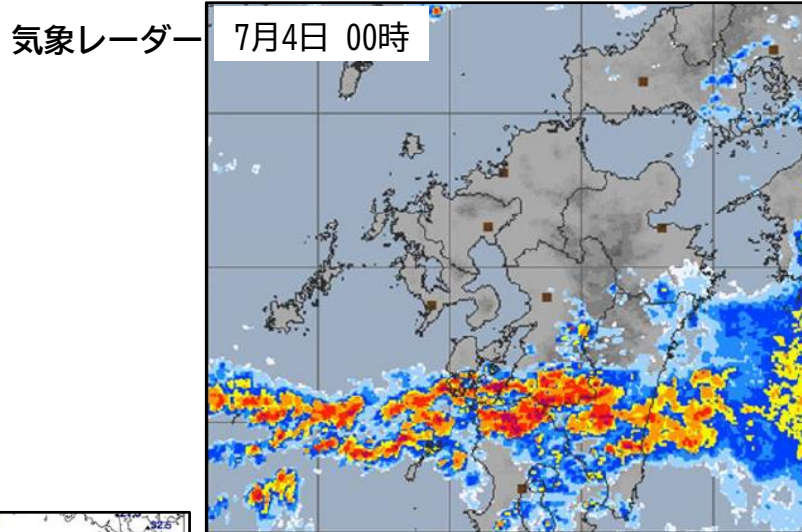
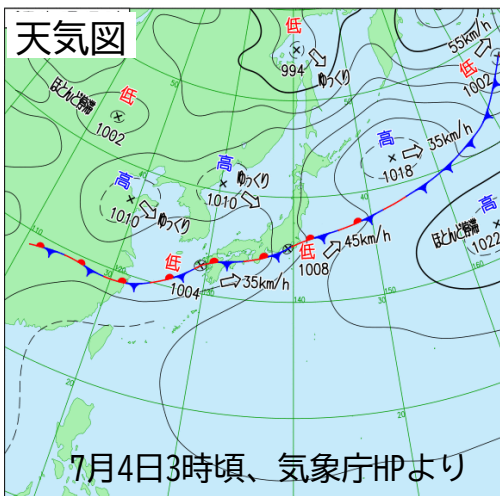


気象・降雨の概要

○ 7月4日(土)未明から朝にかけて、梅雨前線の活発な活動により九州南部に強い雨域がかかり、**熊本県南部を中心に局地的に猛烈な雨**

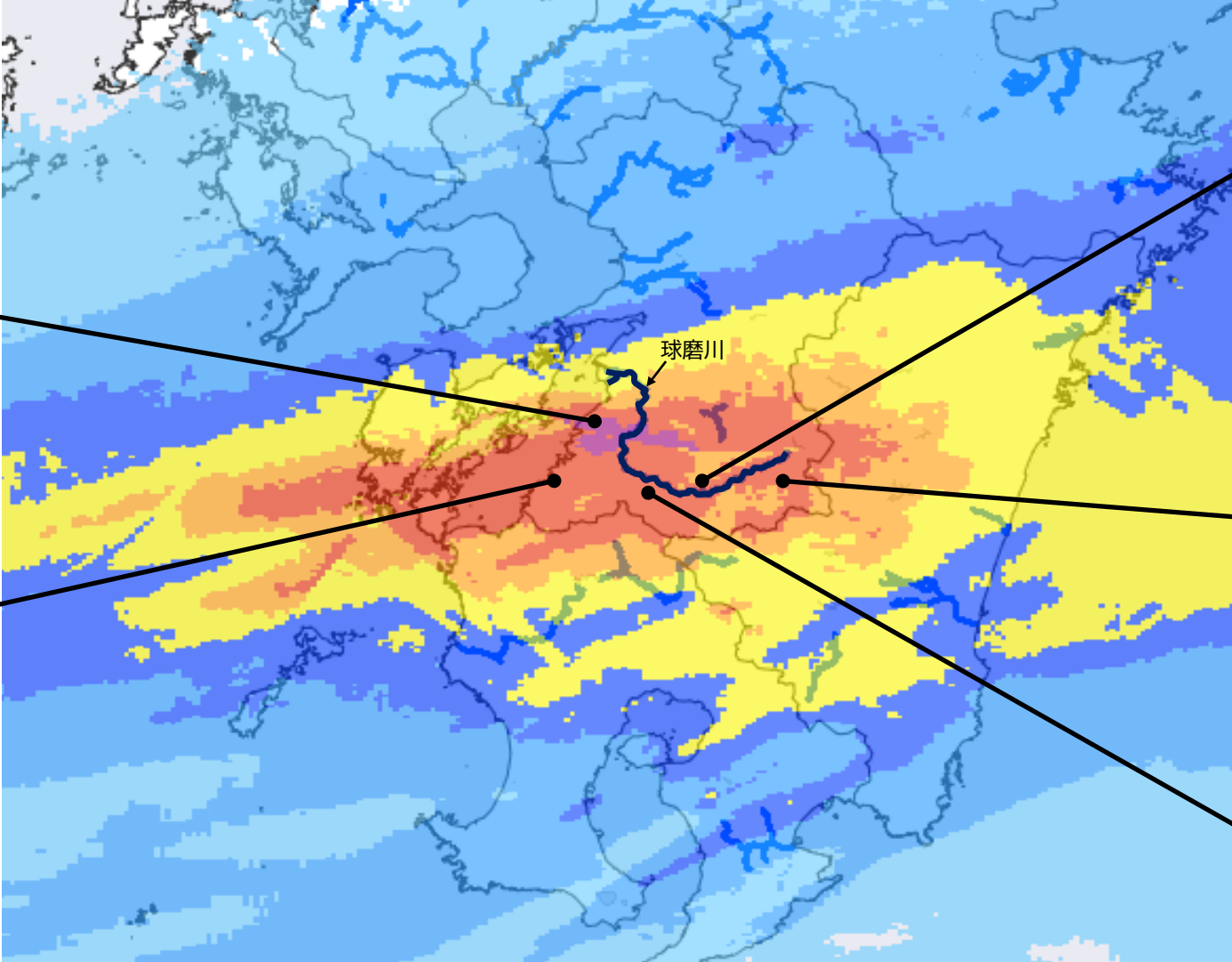


災害気象資料－令和2年7月3日から4日にかけての熊本県・鹿児島県の大雨について－
令和2年7月5日福岡管区気象台 より

気象・降雨の概要

- 熊本県湯前町湯前横谷観測所(気象庁)では、**1,336mm**の期間累計雨量を記録(18日10時00分現在)
- 熊本県では6時間降水量、12時間降水量が**これまでの記録の1.4倍を超えて大きく更新**

赤字：観測史上1位の値を更新した雨量



人吉(人吉市)
 125.0mm/ 3時間
 184.0mm/ 6時間
340.5mm/12時間
410.5mm/24時間

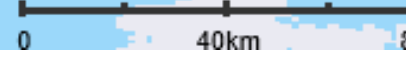
湯前横谷(湯前町)
 165.5mm/ 3時間
 267.5mm/ 6時間
411.5mm/12時間
489.5mm/24時間

一勝地(球磨村)
 158.5mm/ 3時間
 267.5mm/ 6時間
396.5mm/12時間
455.5mm/24時間

田浦(芦北町)
 190.5mm/ 3時間
 325.5mm/ 6時間
386.5mm/12時間
425.5mm/24時間

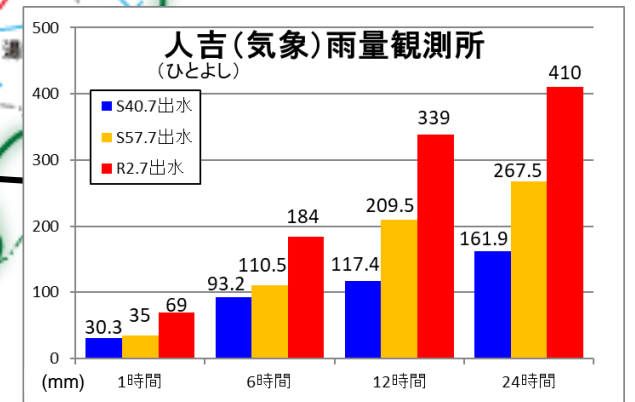
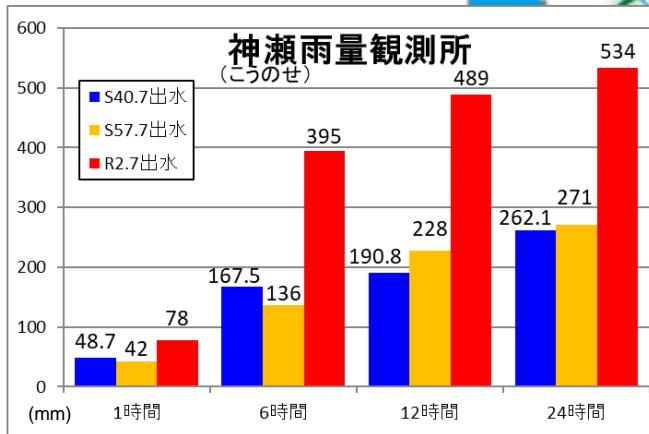
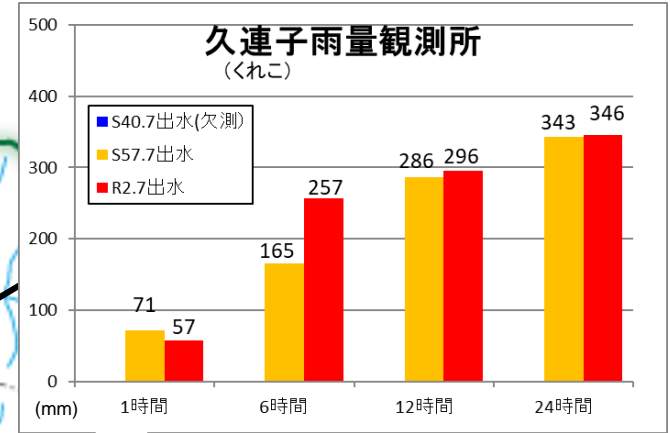
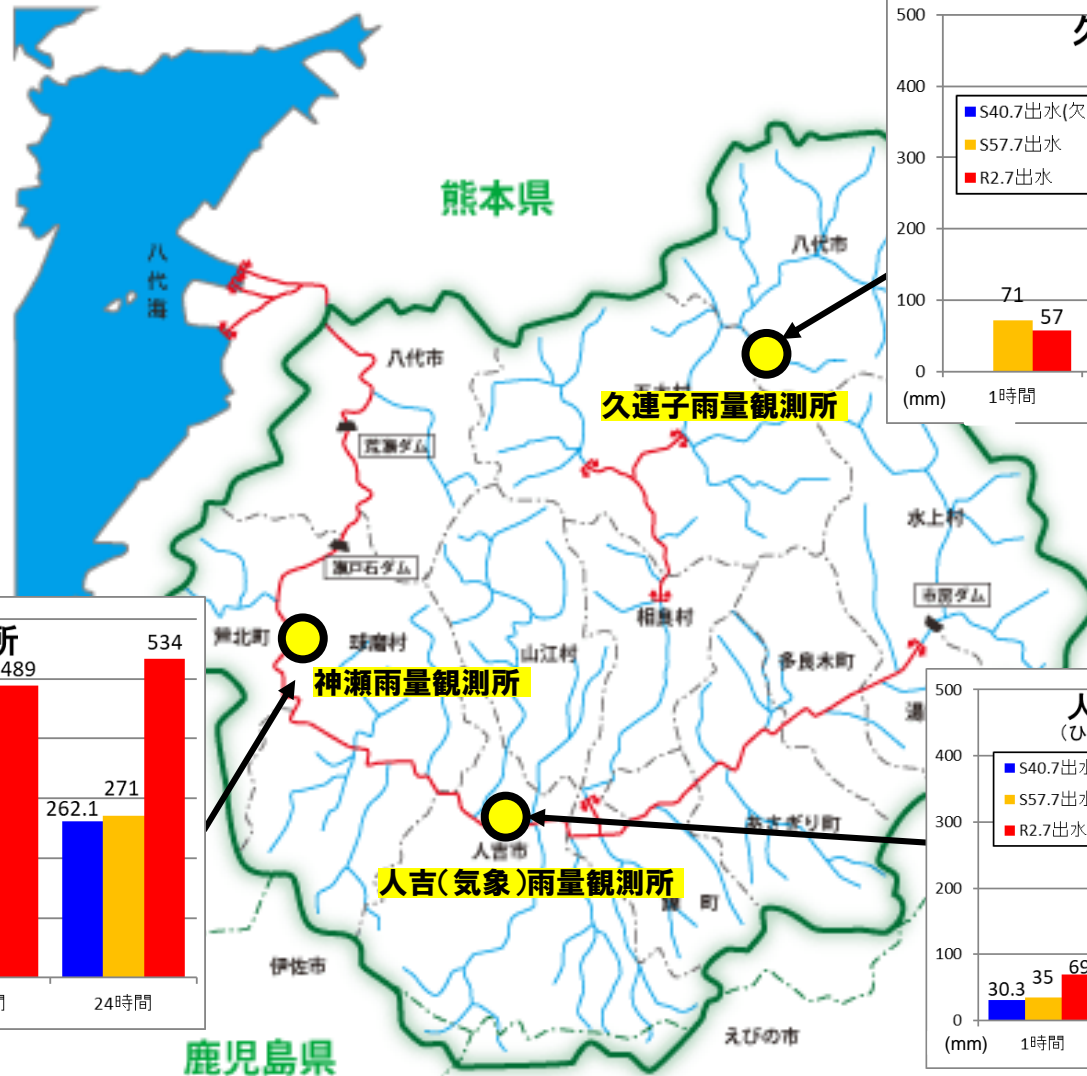
水俣(水俣市)
 157.0mm/ 3時間
 282.0mm/ 6時間
415.0mm/12時間
475.5mm/24時間

7月3日21時から4日09時までの12時間 [レーダー累積]



雨量の状況（球磨川流域）

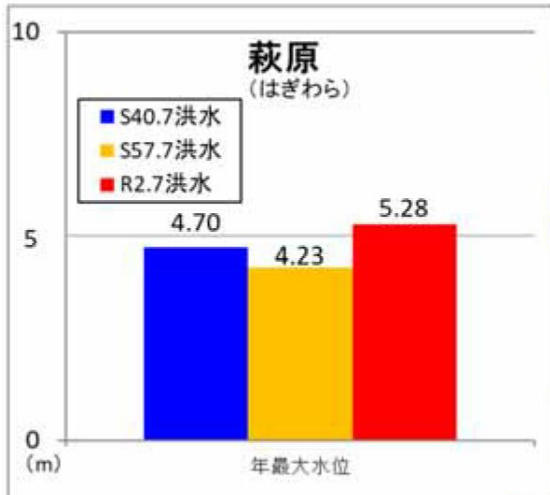
○ 球磨川流域では、多くの雨量観測所において、戦後最大の洪水被害をもたらしたS40.7洪水やS57.7洪水を上回る雨量を観測し、複数の雨量観測所において、観測史上最多雨量を観測



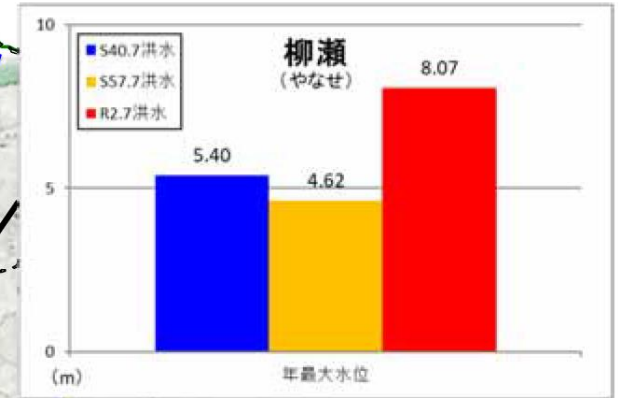
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

水位の状況（球磨川）

○球磨川本川の下流部から中上流部及び支川川辺川（国管理区間）の各水位観測所において、戦後最大の洪水被害をもたらした昭和40年7月洪水や昭和57年7月洪水を上回る水位を記録し、萩原、渡、人吉、柳瀬のいずれも観測開始以来最高水位を記録した。



※萩原水位観測所は、S29.5より自記観測開始



※柳瀬水位観測所は、S26.7より自記観測開始

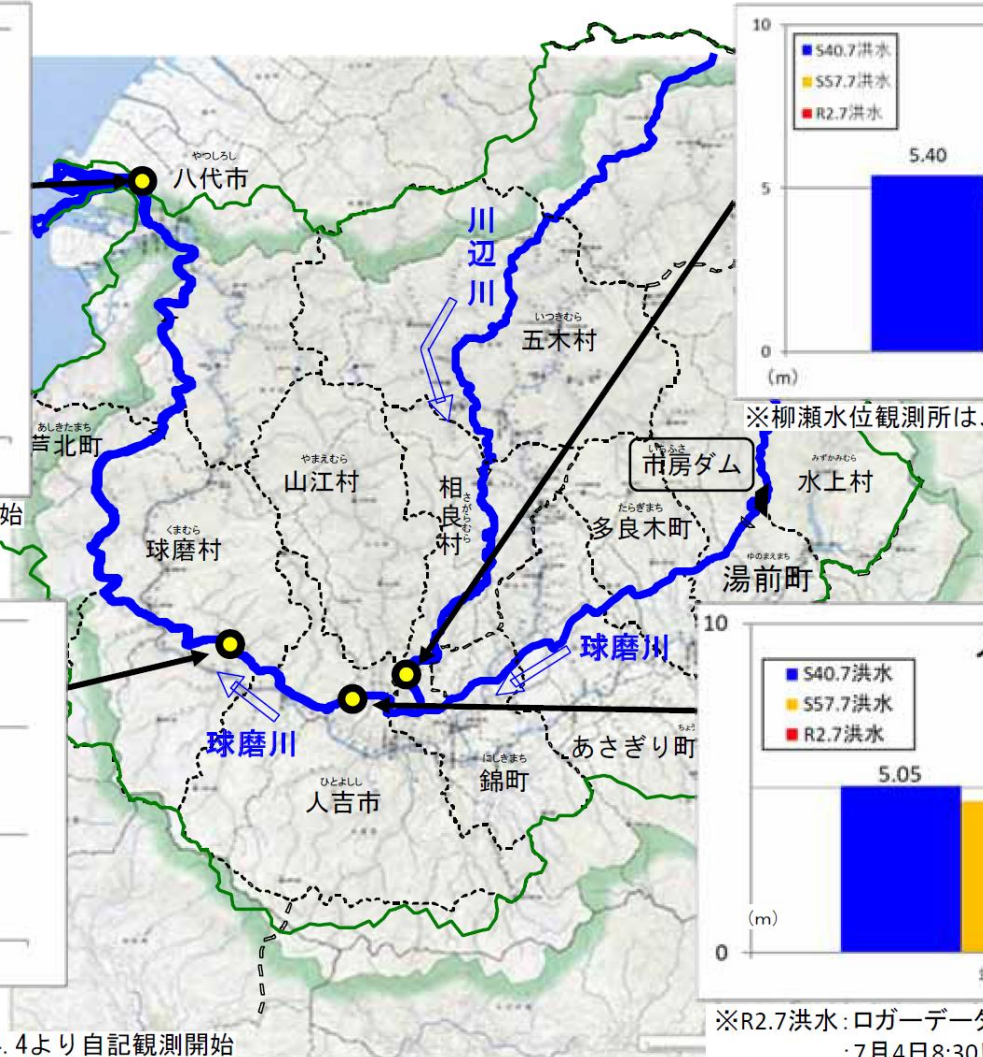


※R2.7洪水：7月4日7:30以降欠測
※渡水位観測所のS40.7は普通観測値。S54.4より自記観測開始

※本資料の数値は「速報値」であり、今後変更の可能性がある。

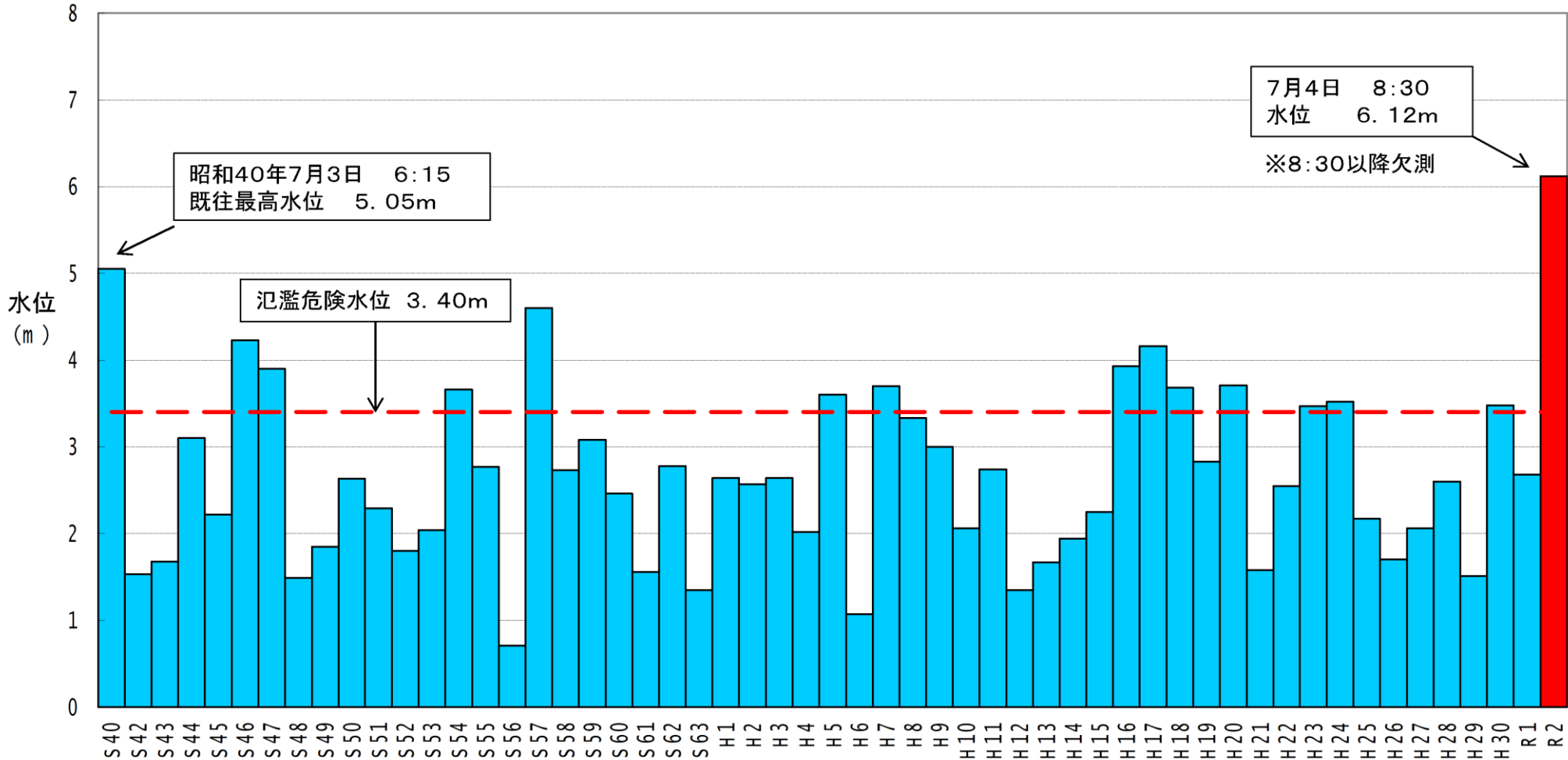


※R2.7洪水：ロガーデータにより水位を補完
：7月4日8:30以降欠測
※人吉水位観測所は、S26.11より自記観測開始



○球磨川水系球磨川人吉（ひとよし）において、これまで観測史上最高水位を記録したS40.7出水、S57.7出水を大きく超えたと考えられる。

球磨川(人吉の年最高水位比較図)



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。